

魅惑のハーモニーを奏でる
日本フィルセミナーコンサート

9月25日、中央公民館でつべつ日本フィルセミナーコンサートが行われました。第1部では津別中学校吹奏楽部がヤン・ヴァン・デル・ロースト作曲「プスタ」とアーノルド作曲「プレリユード・シチリアーノとロンド」を演奏。続いて第16回つべつ日本フィルセミナーの講師及び受講者で編成された「つべつ日本フィルセミナーオーケストラ」と同セミナー出身のチェロ奏者・大澤哲弥さんによるドヴォルザーク作曲「チェロ協奏曲」の演奏が行われました。



第2部ではセミナーオーケストラによるシューベルトの「交響曲第7番・未完成」が披露され、観客は生演奏の迫力と見事なハーモニーに聞き入っていました。

大空町、美幌町、津別町が参加
第29回三町高齢者大学交歓会開催

10月7日、大空町、美幌町、津別町の高齢者大学生を対象とした第29回三町高齢者大学交歓会が中央公民館を会場に開催されました。



交歓会は、レクリエーション等を通じて他町村の高齢者大学生と親睦を図るために開催されたもので、会場には観客を含め380人の方々が集まりました。市町村ごとに社交ダンスや合唱、大正琴などを披露し、舞台上で日々の学習の成果を発表する出演者の姿に、観客は盛大な拍手を贈っていました。

一日ヘルスツアー
ノルディック・ウォーキング実施

10月13日、ランブの宿・森つべつと上里町民の森自然公園を会場に、一日ヘルスツアー「森林セラピー・ノルディック・ウォーキング」が実施されました。

フィンランドが発祥のノルディック・ウォーキングは、スキーストックに似た専用のポールを使って歩く健康法で、全身運動のため通常のウォーキングより運動量が20%ほどアップするといわれています。

参加者は、インストラクターからポールの使い方を学んでから、実際に公園内の遊歩道をウォーキング。秋晴れの空の下、森林浴を兼ねて心地よい汗を流しました。

森つべつでは特製のヘルシーランチと温泉入浴に加えて、家庭で手軽にできる体操の紹介や血管年齢の無料測定なども行われ、健康意識をより高めるツアーとなりました。



老若男女が健脚を競う
紅葉マラソン大会開催

10月2日、スポーツを通じて友好の絆を深め、健康の増進と体力の向上を図る「第10回つべつ紅葉マラソン大会」が行われ、子どもからお年寄りまで200人のランナーが健脚を競いました。

参加者はそれぞれの体力に応じたランブの宿・森つべつ前からのハーフコース、10kmコース、5kmコース、3kmコースの4コースに分かれ、午前10時30分に一斉スタート。秋空の下、道道屈斜路津別線をゴールの豊永さくら公園目指してひた走り、心地よい汗を流しました。

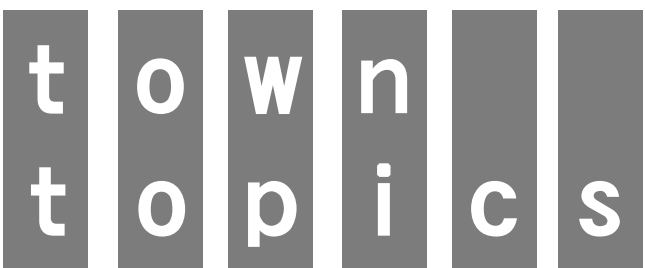


町職員や病院関係者も参加
介護技術学習会開催

9月29日、デイサービスセンターで、介護技術学習会（津別町地域包括支援センター主催）が開催されました。札幌市から「北のくらしと地域ケア研究所」代表の鈴木英樹さんが講師として招かれ、2日間で56名の参加がありました。



今回の学習会は「介護方法が引き起こす事故」がテーマで、町内の高齢者の介護にたずさわる職員や病院関係者が、それぞれの立場で意見交換をしたり、具体的な事故防止の知識を学びました。鈴木さんはグループホームや特別養護老人ホーム、ケアハウスなどの施設も視察。実技指導や個別の事例について職員と検討しました。



まちのわだい

紅葉マラソン運営費の一部に
津別ライオンズクラブから町に寄附

9月21日、津別ライオンズクラブ（藤村勝会長）から、「つべつ紅葉マラソン大会」の運営に役立てていただきたく、町に3万円の寄附がありました。

この寄附は今年で10年目を迎えるもので、藤村会長と会計担当の藤田典之さんが町長室を訪れ、佐藤多一町長に目録を手渡しました。



目録を受け取った町長からは、ご厚意に感謝するとともに、有意義に使用させていただきます旨のお礼の言葉がありました。

今年も多くの人が訪れました
ふれあい広場 友愛セール



9月25日、高齢者や障がい者の社会参加と地域住民とのふれあいを趣旨とした「第20回つべつふれあい広場」（津別町社会福祉協議会主催）が、町民会館で開催されました。

会館前には焼き鳥、焼きそばや豚汁、でんぶん団子などの屋台、介護用品の展示・販売所、炊出し実演コーナーなどが並び、館内ではふれあいステージやお楽しみ抽選会、更生保護女性会による「第38回友愛セール」などが行われました。

当日は好天にも恵まれ、多様な催しに午前中から多くの町民が会場を訪れました。

9月30日から10月2日までの3日間、神奈川総合高等学校の生徒34名（男10名・女24名）と教員3名が農業体験の研修旅行のため津別町を訪れました。今年度は2校目となる受け入れで、グリーン・ツーリズム運営協議会（矢作芳信会長）が受入窓口となり、津別町の応援団になつてもらったことを目的に農家協力を得ました。

受け入れ先では、町内11戸の農家に分かれて、野菜の収穫や牛の搾乳などを体験。普段の生活とはかけ離れた作業に少し戸惑い気味の生徒もいましたが、秋晴れの空の下で働く姿は真剣そのものでした。



グリーン・ツーリズム事業
研修旅行で農業体験